
人肉海岸にて

HS

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人肉海岸にて

【NZコード】

N7948F

【作者名】

H.S

【あらすじ】

これは、夢で見たとてもシユールなお話です。PC版では背景にイラストがつきます。

海辺に、人肉釣りをしている私と彼女がいました。
私たちは、人肉がよく釣れるこの「人肉海岸」で
日々、自給自足の生活を送っているのでした。

なぜ、ここで人肉がこんなにも釣れるのか、
私たちには検討もつきませんでしたが、
大きな流木に一人で寄りかかって座るのが、
私たちのいつものスタイルです。

今日はもう2体ほど棹にかかり、引き上げたのですが、
まあまあ、食べれそうな感じです。

そして、さつそく3体目が……。

でも、ちょっと軽いようです……。

引き上げてみると、それは中学生の少女みたいで、
さすがにこれを食うのはかわいそうだと、ロリコンは思いました。

まだなんとか蘇生できそうな、きれいな肌の色をしていたので、
一応、人工呼吸をしてみました。

はじめてのことでしたが、意外とできるものだと思いました。
一向に反応がなく、やはり素人ではダメかと思いましたが、
気づくと、さわやかな澄んだ瞳でこちらを見つめています。

少女は起き上がると、いろいろ事情を話してくれました。
はつきりした話し方で、素直ない子なのだとわかりました。

「どうやら両親の仲がとても悪く、絶望して、自殺を試みたようなのです。
でも、今はなぜだか、とてもスッキリした気持ちのようですね。

「ありがとうございます」
少女は浜辺から高台に上がるホームのような螺旋階段を登つていきます。

「またなにがあつたら、来いよーいつでも……！
たぶん、ここにいるから」

少女は軽くうなずくと、畠ぬへ帰つていきました。

たぶん、希望的なことばかりではないとは思つたが、
また、私たちに釣られるとも限らないこのだから……。

(後書き)

おバカな文章を最後まで読んでいただき、ありがとうございます。生きることも、苦しいこともあるけれど、きっとその中に暖かいものもあると思うんです。（作者）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7948f/>

人肉海岸にて

2010年12月18日16時57分発行